

令和 6 年 5 月 27 日

各 位

薬局 医薬品情報室

第 284 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

*原則、令和 6 年 6 月 3 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

1. 新規採用薬品について

(1) アイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL (参天製薬) [眼科] 薬価：181,763 / V

アイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL は、導入期に 1 ヶ月に 1 回アイリーア 2mg を投与し、その後の維持期において使用されます。手術室で眼科のみ使用されるため、眼科のみの診療科限定薬として採用されます。

(2) イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 「トーワ」 (東和薬品) 薬価：1,058 / V

(3) イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg 「トーワ」 (東和薬品) 薬価：2,388 / V

現在使用しているイリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 「ホスピーラ」およびイリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg 「ホスピーラ」は、製薬会社の都合による販売中止のため、代替薬として東和薬品より販売されているイリノテカン塩酸塩点滴静注液「トーワ」を採用します。

2. 院外採用薬品について

(1) モビコール配合内用剤 HD (持田製薬) [外科] 薬価：117.8 / 包

モビコール配合内用剤 HD は、当院で既に採用されているモビコール配合内用剤 LD の 2 包分の規格となり、1 回の服用量が 1 包となることで患者の服用軽減となることが期待できます。

3. 採用区分変更の薬品について

(1) エルカルチン FF 内用液 10% 分包 5mL (大塚製薬) 薬価：293.4 / 包

エルカルチン FF 内用液は、院外・院内においてカルニチン欠乏症の患者に対して使用されていることから、患者限定薬から院内採用薬へ採用区分が変更となりました。

(2) フィコンパ錠 2mg (エーザイ) 薬価：195.7 / 錠

フィコンパ錠 2mg は、他院からの持参薬継続のため、年間数名の患者が使用しており、年間約 300 錠程度使用されていることから院外採用薬品より院内採用への採用区分が変更となりました。

4. 採用中止薬品について

(1) イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 「ホスピーラ」 (ファイザー) 薬価：1,107 / V

(2) イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg 「ホスピーラ」 (ファイザー) 薬価：2,460 / V

イリノテカン塩酸塩点滴静注液[「ホスピーラ」]は、製薬会社の都合による販売中止のため、採用を中止します。

(3) ユニフィル LA 錠 200mg (大塚製薬) 薬価：7.7 / 錠

ユニフィル LA 錠 200mg は、製薬会社の都合による販売中止のため、現在使用している患者を除き、採用を中止します。

(4) アドソルビン原末 (アルフレッサファーマ) 薬価：7.5 / 10g

アドソルビン原末は、原薬が枯渇したため出荷停止となり、院内・院外における在庫が消尽したため採用を中止します。

5. 販売名変更の報告

報告事項はありません。

6. メーカー変更の報告

・イマチニブ錠 100mg 「ヤクルト」、レボホリナート点滴静注用 25mg 「ヤクルト」、
レボホリナート点滴静注用 100mg 「ヤクルト」、ゲムシタビン点滴静注用 200mg 「ヤクルト」、
ゲムシタビン点滴静注用 1g 「ヤクルト」、ボルテゾミブ注射用 3mg 「ヤクルト」
ヤクルト → 高田製薬

上記の薬剤についてメーカーが変更となります。

7. 特別採用薬品の報告

－診療科限定－

- (1) レイボー錠 50mg [脳神経内科] 院外限定
- (2) レプロジル皮下注用 25mg [血液内科]
- (3) レプロジル皮下注用 75mg [血液内科]
- (4) エフメノカプセル 100mg [産婦人科] 院外限定
- (5) ミニリンメルト OD 錠 25 μ g [泌尿器科] 院外限定
- (6) エルカルチン FF 静注 1000mg シリンジ [透析科・腎臓内科]
- (7) ヤーボイ点滴静注液 20mg [外科] [呼吸器内科]

－患者限定 臨時採用薬使用－

- (1) コセンティクス皮下注 150mg ペン [総合内科]
- (2) ベンリスタ皮下注 200mg オートインジェクター [総合内科] 院外限定
- (3) リンヴォック錠 7.5mg [総合内科] 院外限定
- (4) ジセレカ錠 100mg [消化器内科] 院外限定
- (5) ジセレカ錠 200mg [消化器内科] 院外限定
- (6) ツムラ四逆散エキス顆粒 (医療用) [産婦人科] 院外限定
- (7) ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯エキス顆粒 (医療用) [産婦人科] 院外限定
- (8) ツムラ滋陰降火湯エキス顆粒 (医療用) [産婦人科] 院外限定
- (9) ツムラ桃核承気湯エキス顆粒 (医療用) [産婦人科] 院外限定
- (10) ツムラの生薬コウジン末 (調剤用) [産婦人科] 院外限定
- (11) ツムラ小半夏加茯苓湯エキス顆粒 (医療用) [産婦人科] 院外限定
- (12) ツムラ桂枝茯苓丸加よく苡仁エキス顆粒 (医療用) [産婦人科] 院外限定
- (13) エストラナーナテープ 0.36mg [産婦人科] 院外限定

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

8. 後発医薬品切り替えについて

(1) 骨髄異形成症候群・急性骨髄性白血病治療剤

先発品名：ビダーザ注射用 100mg（日本新薬） 薬価：24,103 / V

後発品名：アザシチジン注射用 100mg「サワイ」（沢井製薬） 薬価：11,034/ V

(2) 持続性アンジオテンシン変換酵素阻害剤

先発品名：コバシル錠 4mg（協和キリン） 薬価：57.6 / 錠

後発品名：ペリンドプリルエルブミン錠 2mg「サワイ」（沢井製薬） 薬価：17.3 / 錠

(3) 副腎皮質ホルモン製剤

先発品名：デカドロンエリキシル 0.01%（日医工） 薬価：4.3 / mL

後発品名：デキサメタゾンエリキシル 0.01%「日新」（日新製薬） 薬価：1.9 / mL

上記の薬剤は、記載通り後発医薬品へ変更となります。

ペリンドプリルエルブミン錠 2mg「サワイ」は、入院中に使用する規格が 2mg であることから先発品 4mg より変更となりました。デカドロンエリキシル 0.01%は、日医工の都合による販売中止のため、後発医薬品へ変更となりました。

9. その他

—流通関連—

(1) インタール吸入液 出荷調整解除について

インタール吸入液は 2023 年 11 月より製造元の生産ラインの作業逸脱のため出荷停止となっていました。2024 年 3 月以降に出荷再開となりました。

(2) ミダフレッサ静注 0.1% 限定出荷解除について

ミダフレッサ静注 0.1%は、2024 年 4 月より通常出荷となりました。

(3) トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス 限定出荷解除について

トルリシティ皮下注 0.75mg は、2023 年 3 月以降より限定出荷となっていました。2024 年 4 月より限定出荷が解除された旨を説明した。

(4) パピロックミニ点眼液 0.1% 限定出荷について

パピロックミニ点眼液 0.1%は、2024 年 1 月の能登半島地震の影響を受け製造工場の復旧に時間を要しているため限定出荷となっています。

(5) ヒアレインミニ点眼液 0.1%、0.3% 限定出荷について

ヒアレインミニ点眼液は、2024年1月の能登半島地震の影響を受け製造工場の復旧に時間を要しているため限定出荷となっています。

(6) オクトレオチド酢酸塩皮下注 100 μ g「サンド」 出荷停止について

オクトレオチド酢酸塩皮下注 100 μ g「サンド」は、海外製造所の異物混入のため一時出荷停止となっており供給ができず出荷停止となっています。院内の在庫が無くなり次第、処方停止となります。

(7) ワイスタール配合点滴静注用 1g バッグ 出荷停止について

ワイスタール配合点滴静注 1g バッグは、製造工場の乾燥凍結器の故障に伴う製造の停止により出荷継続が出来なくなったため出荷停止となっています。当院在庫は、出荷再開（2024年夏以降を予定）時期まで足りていることから処方制限はしない方針です。

(8) アスパラ CA 錠 200 出荷停止について

アスパラ CA 錠 200 は、2024年1月の能登半島地震の影響を受け製造工場の復旧に時間を要しているため出荷停止となっています。5月下旬の出荷再開まで院内の在庫があるため処方制限は行わない方針です。

(9) アシクロビル点滴静注用 250mg 「NIG」 限定出荷の対応について

アシクロビル点滴静注用 250mg 「NIG」の限定出荷に伴い院内の在庫が減少しているため、代替薬としてアシクロビル点滴静注液 250mg 「トーワ」を購入し対応しています。アシクロビル点滴静注液は、乾燥粉末製剤ではなく液体のアンプル製剤です。

(10) ツムラ桂枝茯苓丸エキス顆粒 出荷制限・在庫消尽に関する対応

ツムラ桂枝茯苓丸エキス顆粒は、需要拡大に伴う供給が追いつかないため製薬会社の都合により出荷制限となっています。院内および院外において在庫が僅少であるため、代替薬として「ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁」を臨時で使用できるようにしました。

—その他—

(1) 今年度の薬事委員会のメンバーについて（企画情報課の担当者について）

今年度の薬事委員会のメンバーについて、今年度より企画情報課の担当者が参加しません。今後、伊勢原協同病院薬事委員会運営基準の改正を行います。

(2) 今年度の薬事委員会の開催時間について

今年度から医師の働き方改革の方針において、薬事委員会の開催時間を17時より早く開催できるか検討した結果、本年度は6月以降に16時30分より中会議室で行います。

(3) 診療報酬改定に伴う薬事委員会 お知らせの院外への公表について

本年度の診療報酬改定に伴い、後発医薬品・バイオシミラー等の承認経緯や、医薬品流通に対する施設の対応についての協議内容を公表することが求められているため、薬事委員会で承認された内容をホームページで公表することが決まりました。

以上